

2022年度環境経営レポート

対象期間:2022年7月1日~2023年6月30日



株式会社タナック 宿毛工場

発行日 令和5年 9月 18日



人の未来へ — 豊かな心で明日を輝かせたい

目次

環境経営方針	3
1. 事業の概要	4,5
2. 2021年度の環境目標とその実績	6
3. 2021年度 環境経営活動の取組結果の評価	7,8
4. 環境経営目標(中期目標計画)	8,9
5. 2021年度の取組内容	9, 10
6. 環境関連法規への違反、訴訟の有無	11
7. 経営における課題とチャンス	11
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	12,13



環境経営方針

【環境経営理念】

当工場は、事業活動を通して、人と自然の調和による地球環境との共存関係を目指し、環境経営システム(エコアクション21)に基づき、事業活動の責務として環境保全との共生を図るべく行動する。

【環境経営方針】

- 当工場は、スチールケース部材・住宅部材・立体駐車場部材の製造において、
1. 省エネルギー、省資源の推進・リサイクル化・廃棄物の削減等、環境の保全向上に努める。
 2. 当工場は、継続的な環境改善と汚染の予防に努める。
 3. 当工場は、環境に関わる法規・法則他の公的基準の順守と、環境に影響を与える恐れのある事業活動を責任もって管理する。
 4. 当工場は、本方針遂行の為、環境目標を設定し活動し、これを見直す。
本年度目標としては、二酸化炭素、廃棄物、化学物質、を前年度実績に対し各 1%削減、水は新たに基準を設定する。
 5. 当工場は、環境経営方針を全従業員に周知・徹底し、方針に従って行動するように教育・訓練を実施する。
 6. 当工場はSDGsへの取り組みの推進を図る。
 7. 当工場は、グリーン購入を推進する。
 8. 従業員製造に関する教育、多能工作業の人材育成を実施する。
 9. 当工場は、環境経営方針を含む環境経営レポートをホームページに掲載し公開する。

制定日 平成 29 年 7 月 1 日

改定日 令和5年 7 月 1 日

株式会社タナック 宿毛工場

工場長 渡辺巧



1.事業の概要

(1)認証・登録の対象組織

株式会社タナック 宿毛工場

事業所所在地

宿毛工場 高知県宿毛市平田町戸内字扇 3433-10

(2)エコアクション21責任者

工場長 渡辺巧

環境管理責任者 明神保善

連絡先 TEL:0880-66-1098

FAX:0880-66-1097

(ホームページ <http://www.tnak.co.jp/>)

(3)事業の規模 (2022年度～2023年度実績)

事業年度	2022年度	2023年度
売上額	99千万円	98千万円

従業員数 45 人

土地 9900㎡、事務所 400㎡、工場 4500㎡、倉庫 330㎡

(4)事業内容



事業内容

業種

- ・金属プレス加工業
- ・建設用金属製品製造業
- ・エネルギー（電気）販売業



主な製品やサービス

- ①梁や住宅タイル・屋根などの住宅部材
- ②新幹線及び高速道路の防音壁
- ③立体駐車場向けの鉄骨部材
- ④太陽光発電による売電事業



各種建材・住宅部材



防音壁部材



立体駐車場部材



各種パレット

宿毛工場: スチールケース部材、住宅部材、立体駐車場部材等の製造

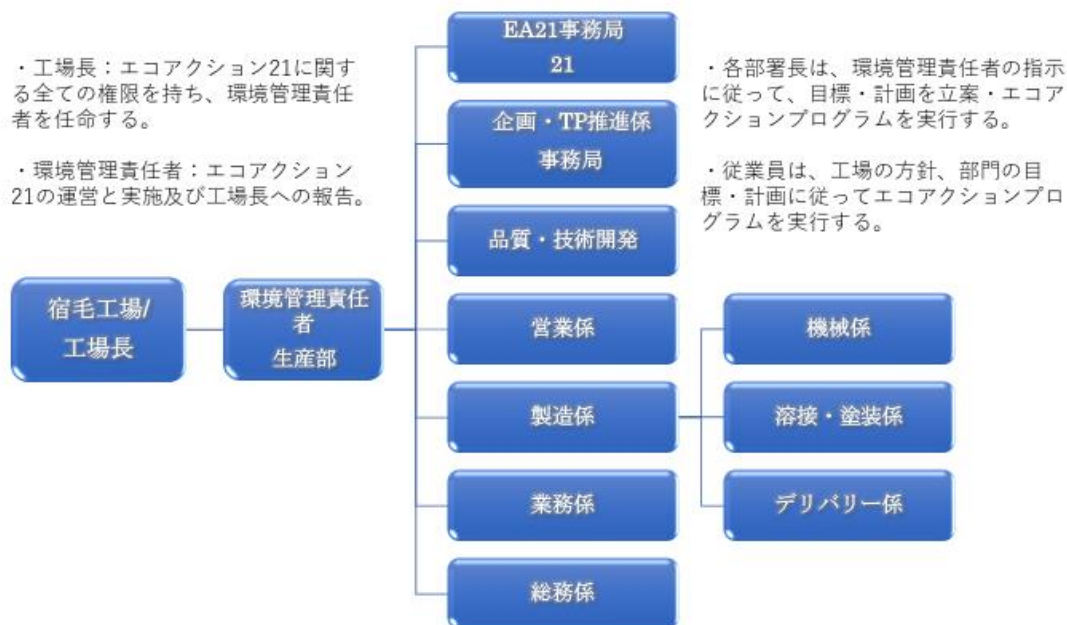


人の未来へ — 豊かな心で明日を輝かせたい

(5)その他

立地地域 工業専用地域

実施体制(役割と責任)当社のエコアクション21の担当者組織図



(株)タナック全体でのマネージメントシステムに取り組み、その状況

マネージメントシステム取得状況

本社及び本社工場
エコアクション21取得済み



宿毛工場
エコアクション21取得済み



三重工場
ISO9001 ISO14001取得済み



兵庫工場
ISO9001 ISO14001取得済み



2. 2022 年度の環境目標とその実績

環境目標の設定方法

使用量、排出量を 2021 年度実績から年間で販売高(原単位)1%低減させることを当面の目標とする。一般廃棄物及び水使用量は、直接生産に関与していないのと排出量・使用量が少ない為、現状維持とした。2022 年度グリーン購入については、現時点で事務用品の購入がほぼグリーン製品の為、目標設定は行っていない。品質不具合については、現状維持で目標を設定した。

下記表は、2020 年度からの実績と本年度の実績と判定結果です。

項目	単位	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 目標	2022年度 実績	達成率(%) 目標/実績	判定
購入電力	kWh/千万円	4,398	3,503	3,468	2,931	118.32	○
軽油	ℓ/千万円	86.5	65.87	65.2	65.16	100.06	○
ガソリン	ℓ/千万円	11.59	6.13	6.07	5.93	102.36	○
一般廃棄物排出量	袋(1袋平均2.7kg)	162	160	158.4	151	104.90	○
水使用量	m ³	486	491	486	364	133.51	○
トルエン	kg/千万円	4.88	0.792	0.785	0.200	392.50	○
キシレン	kg/千万円	5.14	0.502	0.497	0.124	400.80	○
エチルベンゼン	kg/千万円	4.81	0.494	0.490	0.123	398.37	○
品質不具合	(件)	45	42	41	22	186.36	○
二酸化炭素総排出量	t-CO ₂	190	197.5	-	164.4	-	-

※ 二酸化炭素排出量:四国電力平成 28 年度基礎排出係数 0.510kg-CO₂/kWh を使用

達成率(%) = 目標 / 実績 で計算

(二酸化炭素総排出量は LPG を含んでおります。なお、2022 年度の LPG の二酸化炭素排出量は、172.47kg-CO₂ でした。)

(産業廃棄物は生産量により大きく変動するため、目標設定しておりません。)

二酸化炭素排出量に関する電力・軽油・ガソリン使用量、化学物質使用量は、総量では事業年度によりかなり変動があるが、製品出荷額当たりのそれぞれの排出量で見ると、ある程度安定する為、これ等の指標で負荷削減を考慮する。



3. 2022年度 環境経営活動の取組結果の評価

評価 ◎：非常によくできた ○：できた △：一部できていないが、まあまあできている ×：できなかった

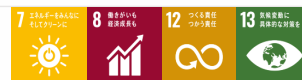
目標(2022年度)	目標達成手段(年間計画より抜粋)	部門	評価	取組結果と評価
廃棄物の削減 目標:158袋 結果:151袋	(2) 通いパレットのリターナブル化 	出荷	◎	・不要な木材を地域の方々に貰っていただきお風呂の薪などおして再利用していただいている。 
	(3) ゼロ梱包化 (4) 木材の有効利用 (リサイクル、リユース)  	機械	○	
	(6) ダンボール箱の60%削減 (7) 通いコンテナ使用 	出荷	○	・通いのコンテナを使用しているのでダンボールや紙類のゴミが削減できた。

評価 ◎：非常によくできた ○：できた △：一部できていないが、まあまあできている ×：できなかった

目標(2022年度)	目標達成手段(年間計画より抜粋)	部門	評価	取組結果と評価
燃料の削減 ガソリン 目標:6.07L/千万円 結果:5.89L/千万円	(1) 社用車、フォークリフトのアイドルストップ強化。	出荷	◎	・台車を増やすことによりフォークリフトの燃料(軽油)の購入量を削減することができた ・営業活動や納入をできるだけまとめて出る回数を減らすことによりガソリンの購入量を削減することができた。
	(2) 不必要な運転の禁止、急発進の禁止、徐行運転の徹底。(エコドライブ化)	業務	◎	
	(3) クレーム件数を低減する。手直し、積み残しを出さない。(クレーム処理によるガソリン使用量を低減する。)	業務	○	
軽油 目標:65.2L/千万円 結果:64.8L/千万円	(4) 台車の台数を更に増やしフォークリフトを使わない運搬方法を強化。 	機械	◎	
	(5) エコドライブの徹底。	業務	◎	



評価 ◎：非常によくできた ○：できた △：一部できていないが、まあまあできている ×：できなかった



目標(2022年度)	目標達成手段(年間計画より抜粋)	部門	評価	取組結果と評価
電力の削減 目標:3,468kWh/ 千万円 結果:2,916kWh/ 千万円	(1) 各作業者に呼び掛け、工場及び照明のオン、オフを実施する。 	全	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・各従業員に節電の意識が根付き休憩時間や必要無い部分の消灯ができています。 ・夏場の空調服、ポロシャツなどの作業着も変更して節電と熱中症対策もできました。
	(5) 金型作成、設備導入による作業時間削減及び夜勤時間の削減。	機械	○	
	(6) 休み時間に設備、照明、空調の電源オフ。(1日当たり1時間)	全	◎	
	(7) 設備、材料などの近接化により効率アップする。(ハンドリング時間短縮)	機械	◎	
	(9) 扇風機使用により体感温度を下げる。(設定温度を上げる為)	業務	◎	
	(12) 太陽光による発電設備(57kW)	-	◎	
	(13)クールビズ:夏場、空調服やポロシャツへ変更 	全	◎	

グリーン購入

グリーン購入につきましては、トイレトーパーR100、コピー用紙は(再生品)を選び、手洗い石鹸、洗剤、ティッシュなどは詰め替え用を購入しゴミを少なくしております。
また、電球なども事務所、工場共に長期間使用できる LED 電球に変更しております。

4. 環境経営目標(中期目標計画)

排出量、使用量を年間で前年度実績から、年間販売高(原単位)1%低減させることを当面の目標とする。

一般廃棄物及び水使用量は、直接生産に関与していないのと排出量・使用量が少ない為、現状維持とした。

グリーン購入については、現時点で事務用品の購入がほぼグリーン製品の為、目標設定は行わない。品質不具合については単独で目標を設定する。



項目	単位	2023年度	2024年度	2025年度
購入電力	kWh/千万円	2,902	2,873	2,844
軽油	ℓ/千万円	64.51	63.87	63.24
ガソリン	ℓ/千万円	5.88	5.83	5.78
一般廃棄物排出量	袋(1袋平均2.7kg)	149.5	148.1	146.7
水使用量	m ³	360.3	356.7	353.2
トルエン	kg/千万円	0.198	0.197	0.196
キシレン	kg/千万円	0.122	0.121	0.120
エチルベンゼン	kg/千万円	0.486	0.482	0.478
品質不具合	件	21	20	19

5. 2022 年度の取組内容

環境経営活動計画(目標達成手段)は次の通りです。

① 電力の削減 目標 2021 年度実績(原単位) に対し 1%削減

- (1) 各作業者に呼び掛け、工場及び照明のオン、オフを実施する。
- (2) 原則として、晴天時の日中は工場、事務所の照明を使わない。
- (3) 天井の照明、白熱灯から全工場 LED 照明への移行。
- (4) 工場の場所ごとに照明のオン、オフを実施する。
- (5) TP活動による改善活動を進め、作業効率を上げる。
- (6) 金型作成、設備導入による作業時間削減及び夜勤時間の削減。

その他

②自動車、フォークリフト燃料の削減 目標 2021 年度実績(原単位)に対し 1%削減

- (1) 社用車、フォークリフトのアイドリングストップ強化
- (2) 不必要な運転の禁止、急発進の禁止、徐行運転の徹底(エコドライブ化)
- (3) クレーム件数を低減する。手直し、積み残しを出さない。(クレーム処理によるガソリン使用量を低減する。)
- (4) 台車の台数を更に増やしフォークリフトを使わない運搬方法を強化



- (5) エコドライブの徹底
- ② 廃棄物の削減／適正処理目標 2021 年度実績(原単位)に対し 1%削減
 - (1) 不必要な木材は無くす様仕入先に依頼(引き取り化)一部の業者で(実施中)
 - (2) 通い木材パレットのリターナブル化
 - (3) ゼロ梱包化
 - (4) 木材の有効利用(リサイクル、リユースをすすめ地域の方々に使用して頂く)
 - (5) 入荷した木材スキットを分解し、当社出荷用梱包材として使用する。実施中
 - (6) ダンボール箱梱包の 60%削減
 - (7) 通いコンテナ使用(ゼロ梱包化)
- ④水道水の節約
 - 目標 486 m³ 節水に努める
- ⑤化学物質使用量削減 目標 2021 年度実績に対し 1%削減
 - (1) 缶に残ったシンナーについては、蓋をかぶせ蒸発を防ぐようにする。
 - (2) 塗料、シンナーの使用量を削減する為、無駄吹きを無くす。
 - (3) 塗料そのものを水性塗料へ移行していく。
- ⑥当工場の製品及びサービスに関する環境目標
 - (1) 作業改善や作業治具化、金型化により、お客様へ納品後のクレームを無くす。
 - (2) 決められたルールを守り、社内不具合を低減する。
 - (3) 積み込み前のチェックにより積み込み忘れを無くす。
 - (4) 各工程の検査の徹底
 - (5) 品質パトロールや出荷前検査の強化により、流出を未然に防ぐ。
- ⑦グリーン購入の促進
 - (1) 文房具におけるグリーン購入の促進
 - (2) エコマーク商品の優先購入の促進
 - (3) トナーカートリッジのリターナブル化
- ⑧環境経営教育訓練の推進
 - (1)環境経営方針・環境経営目標・環境経営活動計画の徹底を図る
- ⑨品質不具合の削減 目標 41 件
 - (1)品質パトロールの実施
 - (2)初物品の出荷前検査の強化
 - (3)発生してしまった不具合対策案についての検証確認
 - (4)作業治具化、金型化により不具合を無くす。
 - (5)他工場との不具合情報の共有化及び対策の水平展開
 - (6)工程管理項目を見やすいものへ変更し、間違いを少なくする。



6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。(令和5年7月1日確認)

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
環境基本法	環境保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
浄化槽法	浄化槽の清掃、点検、11条検査
消防法(危険物)	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機の定期点検、簡易点検の実施・記録を廃棄後3年間保管
高知県環境条例	条例基準値の遵守
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

また、外部からの環境上の苦情・要請等もありませんでした。

7. 経営における課題とチャンス

外部環境の課題		
課題	チャンス	実行計画
・戸建て住宅減少による受注減	・他の仕事を取り入れる	・他の顧客に営業活動
・短納期受注	・要求に応じて信頼を得る	・顧客とコミュニケーションを取り仕事を増やす
・多品種少量の注文	・要求に応じて信頼を得る	・顧客とコミュニケーションを取り仕事を増やす
・不具合(流出)	・改善して減少し信頼を得る	・客先に出向き改善の説明と改善の提案
内部環境の課題		
課題	チャンス	実行計画
・人材不足	・他設備の操作を覚える	・多能工の実施
・人手不足	・広範囲で会社を知ってもらう	・企業説明会などのイベントに参加
・設備の老朽化	・競合他社との競争力強化	・新規設備導入の検討(補助金制度も利用)
・不具合(社内)	・造り方の見直し、出ない仕組み	・教育訓練の実施



8. 代表者による全体の評価と見直し・指示 (令和5年7月1日確認)

〈今年度の評価〉

コロナ過も多少落ち着き、従業員の頑張りで前年並み(前年比 98%)の売上げが確保できた。

昨年同様、通常通り小ロット品や試作品が主流となっているものの、今までの短納期対応や他社では無理な加工や納期対応などの恩恵もあり、大口の注文も増えてきた。

また、工程の把握と現場及び従業員の努力で、残業 1.5 時間程度に収まり、通年通して夜勤をしなくて良い環境が作れた。

結果、今まで苦しんでいた電気使用量が削減できた。(2021 年度 348,684kWh→2022 年度 285,853kWh)

化学物質使用量に関しては、水性の非危険物塗料へ変更したことにより前年比、トルエン(392.5%)キシレン(400.8%)エチルベンゼン(186.36%)と大幅に削減することができた。

その他の廃棄物、各燃料等につきましても目標達成。

※今後全面的に水性の非危険物塗料へ移行していきます。

また、初の試みで社員同士のコミュニケーションを取る目的でかつおの薫焼き体験を行った。



とても好評で従業員の親睦を深めるためにも今後も定期的にイベントを行っていきます。



〈来年度に向けて〉

環境経営方針、環境経営目標、環境活動計画、実施体制は基本の考え方は継続します。

電力、各燃料、廃棄物、水等につきましても目標達成できます様、今後も推進いたします。
会社独自のTP活動を進め、各職長や作業員から提出された改善案を基に PDCA 活動を実施し、改善をより効果的なものとする事に努めます。

